

第19回定例会アンケート集計結果 (21枚回収)

1	1回	11
	2回	2
	3回	1
	4回	2
	5回以上	5

メール	6	
Facebo	1	
知人	13	グリコの松尾さま・三菱製紙販売さま・下出屋・平林・湯井
その他	1	HP検索

2 参加のきっかけ

- ▶ 防災コンサルとして、ヒューマンウェアの分野に役に立てる、ビジネスモデルを持ちたい
- ▶ 熊本の今を知りたかった。防災・減災グッズに興味があった。
- ▶ 防災コミュニティに関心がある
- ▶ 近くで仕事があり、情報収集と勉強に
- ▶ 防災事業、防災品販売のため
- ▶ 異業種間で防災・減災について意見交換をする機会が欲しかった
- ▶ BCPの勉強
- ▶ 地域活動の中、たくさんの情報を仕入れたいと切に思った
- ▶ 会社の事業を防災目線で活かしていきたいと思った
- ▶ 防災製品を取り扱う部署に配属となった
- ▶ 自身で開発しているプロダクトの発展の為に皆様の活動を勉強したい

3 本日のプログラムについて

第1部 熊本地震の振り返り

現地でのリアルな体験を聞いて良かった。説得力があった。
改めて実態を目にし、扱う事業の社会的使命と責任感を感じました。
自身に対する恐さが認識でき、防災に対する意識を少しずつ高めていきます。
BCPについて再度考えるきっかけになった
自社の社員も被災している事の想定がもれている
もっと、聞きたかった。説明がわかりやすく、説得力があった。
現地での障害の方をもっと聞きたかったです。(最近、テレビで見たため)
一年後というタイトルだったので、現在の話かと思ってました。
熊本地震を一つ取っても、多様な視点があり同じ災害が異なる災害に思えました。

第2部 新商品開発ワークショップ

商材を自由に想起するワークかと考えていたが、前提条件を設けることで実現可能性の枠が
かかり、これはこれで良いと感じた
ブレーストーミングにもう少し時間をかけても良かったのでは？
ユニークでよかった
発生時、何が必要か考えたい
自分の中に思わぬ発想がある事に楽しくなりました
皆様のアイデア・発送は素晴らしく、食べられる段ボールが印象深かったです
既出のもの以外を考えることの難しさを感じた
意見交換ができよかった。次回の実施をお願いしたい
参加型で面白かった
自分が携わって分野で全くの予想外の考えなども出て面白かった

全体

全体的にもう少し時間が欲しかった。スピードが早かった
資料が欲しかった
初めての参加でも話が出来て、いい空間でした
皆様の意識が高く驚きました
考えているようで考えていなかった、気づきがあった

4 ご参加されて企業が災害時に置かれる状況、減災に向けた新商品開発の理解は深まりましたか？

5: 9人 4: 5人 3: 6人 無回答: 1人

- ▶ 自分の理想が実際商品になればと思うと、いろいろな意見があるなと感じた
- ▶ BCPに取り組んでいる企業の事例紹介をお聞きしたいと感じた
- ▶ 様々な考えを聞いて、考えが浮かぶようになった

- ▶ まだ知識が浅いので、これからも知りたい
- ▶ 時間が足りなかった
- ▶ 障害者への対応の仕方、女性の支援者の活動が必要

5 次回定例会にもご参加されたいですか？またどのようなテーマや内容をご期待されますか？

- 参加する：17人　わからない：4人
- ▶ 今回のようなワークショップ参加型スタイル
 - ▶ いざというとき、トイレ
 - ▶ 防災の発信側と受け取り側のギャップを埋めるディスカッション
 - ▶ 自治会やコミュニティについて：意識、関心を喚起
 - ▶ 草花・樹木の維持管理による防災対策

6 プレゼンテーション希望、その他質問など

- ▶ レスキューランジェリー
- ▶ 対策について

・新商品ワークショップでの意見

山本化学工業

☆ 核シェルター

- ・防災スーツ　ジャンパーのようにパツと着られる等、工夫。
- ・耐火シート
- ・折り畳んで運びやすいマット
- ・ジャンパーのような着衣が、展開し、寝る時のマットになる。
- ・カバンが、非常時には着られる防災ジャケット的なものに早変わりする。
- ・リュックサックが浮きの機能になっている。→広げるとシートになる。
- ・ライフジャケットで、耐熱。→広げるとシートになる。
- ・核シェルター　家庭用・個人用：テントのように非常時に広げて使う機能性
- ・核シェルター化するシート素材。企業ビル等の地下室内壁面に貼って行くことで、既存建物をシェルター化できるようなもの。
- ・（3社の素材全てを活用した）子どもの遊び場キット：床シート、段ボール構造、部分にLED照明。避難所等に簡易に遊びスペースをつくり出せる。
- ・ポンチョ
- ・熱源不要の保温性を活かして、非常時の料理にも活かせるのでは？
- ・可変型カバン。トランスフォーマーのようにスイッチングでいくつかの機能のものに早変わりする。
- ・ヘルメットの代用品になる、日常使いのできるおしゃれ帽子
- ・津波に巻き込まれた時の生存率を上げる着衣

(株)タカオカ

☆ シェルター　遊牧民が使用する「ゲル」のようなイメージ(1週間使用を想定)

- ・食べられる段ボールで作成する
- ・香り付き段ボールで作成する
- ・消臭機能付きの段ボール製品
- ・備蓄品や防災用品を送った段ボールの2次使用
椅子などへの変化、内側が黒板・掲示板として使用できるなど
- ・燃やす際、燃料として使えるよう工夫する
- ・梯子
- ・遊具
- ・ギプスとして使用
- ・階段用スロープ、避難用滑り台

前田機械株式会社

☆ LEDコミュニケーション「光」を使って安心、安全を照らす

- 街角（電柱・自動販売機など）に設置し、「安」「危」で後に続く人に知らせる機能
- ・光と音を発するセンサーで生き埋め者救出を援助する道具
 - ・電気・電話不通時、単三電池とLED、光ファイバーの組み合わせで救助を求めるメッセージが受発信できるシステム
 - ・停電時に避難ルートと避難所を照らす。ハンディライトと投光器の中間程度を想定